

『マエストロ、ようこそ』執筆メモ

広渡勲が関わった公演一覧・年表

音楽之友社 2020 年 12 月刊

※以下は、原稿執筆段階の「メモ」として広渡氏の公演録などをもとに作成されたものであり、書籍で触れていない公演・事項も含まれています

○1940 年 12 月 3 日 福岡県福岡市で生まれる。

○1959 年 3 月 福岡県立修猷館高校卒業。

九州博多から東京へ 早稲田大学時代の舞台スタッフアルバイト (1960-1964)

○1960 年 4 月 早稲田大学第 1 文学部演劇専修入学 (ゼミ & 卒論担当: 郡司正勝教授)

○1961 年 4 月 東京文化会館開場

○1962 年 3 月 佐々木忠次氏 (スタッフ・クラブ) との出会い

「黒蜥蜴」脚本: 三島由紀夫、演出: 松浦竹夫、音楽: 矢代秋雄

舞台監督 佐々木忠次 (JAS)

初代水谷八重子、芥川比呂志、田宮二郎、大空真弓、武藤平吉 (石坂浩二)

6 月 チャイコフスキー記念東京バレエ学校「まりも」初演 (文化会館初体験)

○1962 年～1964 年 国内オペラ団、バレエ団、劇団新派、明治座等の裏方を務める

○1963 年 9 月 日生劇場開場 ベルリン・ドイツ・オペラ《フィデリオ》他

○1964 年 デューク・エリントン、カウント・ベーシー楽団の裏方

早大オペラ自主公演《イドメネオ》(文京公会堂)

東京オリンピック (協賛公演「牧阿佐美バレエ団」連続公演舞台監督を務める)

東宝演劇部 (舞台監督、演出助手) (1964-1970)

○1964 年 4 月 東宝演劇部入社

6 月 東宝劇団「花と七首」「国姓谷合戦」(東京宝塚劇場) (入社初舞台)

7 月 ミュージカル「努力しないで出世する方法」日本初演 (新宿コマ劇場) 坂本九、草笛光子

9 月 「奇跡の人」日本初演 (芸術座) 湯浅恵子、有馬稲子、山形勲、丹阿弥谷津子

10 月 卒論提出=早稲田大学卒業

11 月 東宝劇団 (大阪新歌舞伎座) 松本幸四郎、山本富士子、市川中車、中村芝鶴、中村又五郎

12 月 喜劇「雲の上団五郎一座故郷へ行く」(東京宝塚劇場)

榎本健一、越路吹雪、三木のり平、有島一郎、益田喜頓、八波むとし、宮城まり子、大江美智子

- 1965年2月 七代目松本幸四郎追善歌舞伎公演（東京宝塚劇場）団十郎、幸四郎、松緑、山田五十鈴
4月 宝塚歌劇雪組「港に浮いた青いトランク」（東京宝塚劇場）真帆しぶき、加茂さくら
5・6月 「終着駅」（芸術座）那智わたる、染五郎、志村喬
7・8月 木の芽会「東海道四谷怪談」（芸術座）市川染五郎、中村万之助、中村又五郎

○1965年9月～1966年6月 ハワイ大学 East West Center 留学

*舞台美術：リチャード・メイソン教授 *同窓生：中村敦夫、酒井洋子
*川口松太郎、三益愛子夫妻との交流

○1966年7・8月 世界一周：ホノルル～サンフランシスコ～ラスベガス～ニューヨーク～
ロンドン～パリ～ジュネーブ～ベルリン～アテネ～イスタンブール

- 10月 帝劇開場歌舞伎公演・二代目中村吉右衛門襲名（帝国劇場）
「金閣寺」「関の扉」「盲長屋梅加賀鳶」「大仏炎上」「白金の糸」
中村歌右衛門、松本幸四郎、尾上松緑、中村吉右衛門、市川中車、中村芝鶴
11月 宝塚歌劇「日本の幻想」「夢を売る妖精たち」（東京宝塚劇場）那智わたる
12月 国立劇場開場「菅原伝授手習鑑」「車引」「賀の祝」「寺子屋」「天拝山」（国立劇場）
幸四郎、梅幸、三津五郎、勘弥、雀右衛門、中車、吉右衛門

- 1967年 2月 ミュージカル「津軽めらしこ」（東京宝塚劇場）寿美花代、高島忠夫、林与一、中山千夏
3月 宝塚歌劇花組「峠の万歳」「龍鳳夢」（東京宝塚劇場）天津乙女、上月晃、甲にしき
4月 歌舞伎「東山櫻草紙」佐倉義民伝（国立劇場）松本幸四郎、中村又五郎、市川中車
7月 ミュージカル「ファンタスティックス」日本初演（芸術座）栗林義信、天本英世、沢木順
8月 美空ひばり 北海道巡回公演（函館～網走～釧路～旭川～札幌）
9月 ミュージカル「オクラホマ」（東京宝塚劇場）宝塚歌劇団：古城都、八潮路まり、上月晃、
10月 名古屋御園座顔見世歌舞伎「土屋主税」「吉野川」「寺子屋」「一條大蔵郷」「加賀鳶」
村歌右衛門、松本幸四郎、尾上松緑、中村吉右衛門、市川中車、中村芝鶴
11・12月 帝劇歌舞伎「朱雀門」（帝国劇場）松本幸四郎、市川染五郎

○1968年1月 吉屋信子「徳川の夫人たち」（東京宝塚劇場）

山田五十鈴、司葉子、浜木綿子、乙羽信子、星由里子、春日野八千代、染五郎、吉右衛門、中車

- 2月 木の芽会「熊谷陣屋」「土蜘蛛」（国立劇場）染五郎、吉右衛門、又五郎
5・6・7月 海外ミュージカル引越公演「オリバー」（帝国劇場）
8月 宝塚歌劇星組「ヤング・メイツ」「追憶のアンデス」上月晃、南原美佐保、初風淳
9月 「アメリカン・バレエ・シアター」初来日公演（東京文化会館）の舞台監督を務める
11月 美空ひばり明治座公演 美空ひばり、林与一、黒川弥太郎
12月 美空ひばり大阪新歌舞伎座公演 美空ひばり、林与一、黒川弥太郎

- 1969年2月 ミュージカル「金餅梅」(帝国劇場) 森繁久弥、朝丘雪路、フランキー堺、黒柳徹子
 4・5月 ミュージカル「ラ・マンチャの男」日本初演(帝国劇場)
 市川染五郎、小鹿番、草笛光子、浜木綿子、小沢栄太郎、黒柳徹子、賀原夏子、友竹正則
 6月 「若きウエルテルの悩み」(帝国劇場) 石坂浩二、那智わたる、益田喜頓
 9月 ミュージカル「金瓶梅」(名古屋御園座) 森繁久弥、朝丘雪路、フランキー堺

○1970年 1・2・3月

- ミュージカル「スカーレット」世界初演(帝国劇場)
 脚本：菊田一夫、演出：ジョー・レイトン、作曲：ハロルド・ローム
 神宮寺さくら、北大路欣也、倍賞千恵子、田宮二郎、黒柳徹子、益田喜頓、藤木孝
 6月 ミュージカル「ラ・マンチャの男」染五郎 NY 凱旋公演(名古屋名鉄ホール)
 9月 ミュージカル「ラ・マンチャの男」染五郎 NY 凱旋公演(日生劇場)
 11月 シェークスピア「ハムレット」(日生劇場) 市川染五郎、山口果林、高橋幸次、草笛光子

ジャパン・アート・スタッフ	(1970-2002)
---------------	-------------

○1970年10・11月 「東京バレエ団」海外公演

(ソ連) リガ～レニングラード～モスクワ
 (ヨーロッパ) ～ローザンヌ～ジュネーブ～パリ～ルクセンブルグ～フランクフルト

○1971年7・8月 民音世界バレエ「ギニア協和国 アフリカ・バレエ団」(東京他全国33公演)

- 1972年1・3・6・7・9・12月 *構成演出：別府杉乃井ホテル大劇場公演(1972-1978)開始
 「杉乃井歌舞伎」「春の踊り」「懐かしの歌声」「夏の踊り」「民謡・軍歌」「クリスマス」
 4・5月
 民音世界バレエ「パリ・オペラ座バレエ団(1)」“ノートル・ダム・ド・パリ”他

○1973年1・3・6・7・9・12月 *構成演出「別府杉乃井ホテル大劇場」

4月 歌劇「蝶々夫人」(東京文化会館) 指揮：アルジェオ・クワドリ、演出：青山圭男
 東敦子、L・サルダリー、W・アンハイザー、浅野久子

6月20日 NHKホール開場

9・10月 民音世界バレエ「シュツットガルト・バレエ団(1)」(東京他全国19公演)
 “オネーギン” “じゃじゃ馬馴らし” “カルタ遊び” 他

12月～1991年 日本経済安定期—バブルへ向かって

○1974年1・3・6・7・9・12月 *構成演出「別府杉乃井ホテル大劇場」

9月21日～10月13日 「バイエルン州立歌劇場」(初) (民音創立10周年記念公演)

「ドン・ジョヴァンニ」(サヴァリッシュ) プライス、ヴァラディ、コトルーバス
「ワルキューレ」(サヴァリッシュ、ライトナー) キング、テオ・アダム、ビョーナー
「フィガロの結婚」(サヴァリッシュ、ライトナー) フィッシャー・ディスカウ
「ばらの騎士」(クライバー) ジョーンズ、ファスベンダ、リーダブッシュ

○1975年1・3・6・7・9・12月 *構成演出「別府杉乃井ホテル大劇場」

4・5月 民音世界バレエ「英国ロイヤル・バレエ団(初)」(東京他全国26公演)
“眠れる森の美女” “リーズの結婚” “ザ・ドリーム” 他
10月 「ロンドン交響楽団(プレヴィン)」

○1976年1・3・6・7・9・12月 *構成演出「別府杉乃井ホテル大劇場」

4・5月 「第1回世界バレエ・フェスティバル」
フォンティーン、アロンソ、プリセツカヤ、フラッチ、ボルトルッチ、プフォネス

○1977年1・3・6・7・9・12月 *構成演出「別府杉乃井ホテル大劇場」

○1978年1・3・6・7・9・12月 *構成演出入替「別府杉乃井ホテル」(最終年)

4・5月 民音世界バレエ「モーリス・ベジャール/20世紀バレエ団(1)」
“我々のファウスト” “愛が私に語りかけるもの” “春の祭典/火の鳥/ペトルーシュカ”

○1979年7・8月 「第2回世界バレエ・フェスティバル」(フィナーレ・ガラ “パ・ド・カトル”)

アロンソ、プリセツカヤ、フラッチ、ポントワ、マクシモワ、エフドキモワ、ワシリエフ

9・10月 「英国ロイヤル・オペラ」(初)

「トスカ」(デイヴィス、ステイプルトン) カバリエ、カレーラス、ヴィクセル
「ピーター・グライムス」(デイヴィス) ヴィッカーズ、ハーパー、ロイド
「魔笛」(デイヴィス) アレン、コトルーバス、ミッチェル、アレン

○1980年10・11月 「ウィーン国立歌劇場」(初) (民音主催)

「フィガロの結婚」(ベーム) プライ、ヤノヴィッツ、ポップ、バルツァ、ヴァイケル
「ナクソス島のアリアドネ」(ベーム、シュタイン) グルベローヴァ、バルツァ
「後宮からの誘拐」(グシユルバウアー) クルト・ユルゲンス、グルベローヴァ
「エレクトラ」(クロブチャール) ニルソン、リザネック、キング、バイラー
「サロメ」(ホルライザー、シュタイン) リザネック、アームストロング、ヴァイケル

○1981年7月 「パリ・オペラ座バレエ学校 (初)」生徒シルヴィ・ギエム参加

8月14日 カール・ベーム死去

9・10月 「ミラノ・スカラ座」(初)

「シモン・ボッカネグラ」(アバド) カップチルリ、フレニ、ギャウロフ

「オテロ」(クライバー) ドミンゴ、トモワ=シントウ、カローリ

「セビリヤの理髪師」(アバド) ヌッチ、アライザ、ヴァレンティニー

「ラ・ボエーム」(クライバー) フレーニ、ドヴォルスキー、グルエルミ

「ヴェルディーレクイエム」(アバド)

○1982年4月 五反田簡易保険ホール開場 (～2015年閉館)

4月 「ウィーン室内合奏団 (1) (G・ヘッツェル)」(全国18公演)

7月 東京バレエ団「ボレロ」第1回公演 (ベジャール)

7・8月 「第3回世界バレエ・フェスティバル」アロンソ、ハイデ、シャウフス、ドン

10月 「20世紀バレエ団」“エロス・タナトス” “魔笛”

10月 大阪シンフォニーホール開場

○1983年4月 「ウィーン室内合奏団 (2)」

4・5月 「英国ロイヤル・バレエ団 (2)」“マノン” “白鳥の湖” “田園の出来事”

9月 「第1回オペラ・ガラ・コンサート (ナヴァロ)」

フレニ、ヤノヴィッツ、バルツァ、ボニソツリ、カップチッリ、ギャウロフ

9・10月 「マルセル・マルソー」日本公演 (NBS 初主催)

○1984年2・3月 「ジョルジュ・ドン 東京バレエ団」“ボレロ” 全国公演

4月 「シュツットガルト・バレエ団 (2)」“ロメオとジュリエット” 他

5月 「国立パリ管弦楽団 (1) (バレンボイム)」日本・ソウル

10・11月 「アメリカン・バレエ・シアター (2)」w/バリシニコフ

“ドン・キホーテ” “ラ・シルフィード” ”アザー・ダンス “他

○1985年6・7月 「パリ・オペラ座バレエ学校 (2)」

7・8月 「第4回世界バレエ・フェスティバル」(フィナーレ・ガラ “白鳥の湖”)

フラッチ、ハイデ、ポントワ、フェリ、デュボン、シャウフス、プフォネス

8月12日 御巣鷹山日航機墜落 (バレエフェスティバル参加者帰国日)

9月 「イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団 (バーンスタイン) (1)」

10・11月 「20世紀バレエ団」(3) “ディオニソス” w/横尾忠則 他

○1986年4月 東京バレエ団「ザ・カブキ」初演 (ベジャール)

5月 「バイエルン国立歌劇場管弦楽団 (クライバー) (家族来日)

クライバー旅行 (5・28~6・9) 箱根—奈良—京都

- 5月 「パリ・オペラ座バレエ団 (2)」 “ロメオとジュリエット” “春の祭典”” ボレロ “
8月 「パトリック・デュボンと輝ける仲間達 (1)」

9・10月 「英国ロイヤル・オペラ (2)」

- 「トゥーランドット」(デラコート) スタッフ、ボニソルリ、ヘイマン
「コジ・ファン・トゥッテ」(フェツロ) テ・カナワ、ベリー、オッター、ベリー
「カルメン」(エルムラー) バルツァ、カレーラス、キリコ
「サムソンとデリラ」(デラコート) ヴィッカーズ、バリオーニ

10月 サントリーホール開場

- 10月 「マルセル・マルソー (2)」日本公演
10月 「ウィーン室内合奏団 (3)」

○1987年 2月 「第2回オペラ・ガラ・コンサート (ナヴァロ)」

リザネック、ガスディア、ヴァレンティニーニ、マテウッチ、カプチルリ、イエルサエム

3月 「ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ全32曲演奏会」(バレンボイム)

4月 「国立パリ管弦楽団 (2)」(バレンボイム)

- 4・5月 「英国ロイヤル・バレエ団 (3)」 “うたかたの恋” “眠れる森の美女” 他

6・7月 テル・アヴィヴ〜ベルリン (フリードリヒ)

〜バイロイト (バレンボイム、ポネル) 打ち合わせ旅行

- 9・10月 「シュツットガルト・バレエ団 (3)」 “オネーギン” “パリの喜び” 他

10・11月 「ベルリン・ドイツ・オペラ」 ニーベルングの指環 “(日本初演)

第1・第2サイクル (コボス) 第3サイクル (ホルライザー)

「ラインの黄金」ヘイル

「ワルキューレ」ヘイル、リゲンツァ、ヴァラディ、イエルザレム

「ジークフリート」ヘイル、コロ、リゲンツァ、マッキンタイヤー

「神々の黄昏」コロ、リゲンツァ、サルミネン、トムリンソン

○1988年 3月 「イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団 (2)」(メータ)

3月 「ウィーン室内合奏団 (4)」(ヘッツェル)

3月 「ゲアハルト・ヘッツェル・ヴァイオリン・リサイタル」

- 4・5月 「サドラーズ・ウエールズ・バレエ団 (初)」 “白鳥の湖” “リーズの結婚”

5・6月 「メトロポリタン・オペラ」

「フィガロの結婚」(レヴァイン) バトル、ホーン、ハンブソン

「ホフマン物語」(レヴァイン) ドミンゴ、モリス、ミルズ

「トロヴァトーレ」(メラーノ) ミッコ、コソット、ボニソルリ

7・8月 「第5回世界バレエ・フェスティバル」 アロンソ、フラッチ、ギエム、デュボン

9・10月 「ミラノ・スカラ座 (2)」

「ナブッコ」(ムーティ)、ディミトロヴァ、ブルゾン、ブルチュラーゼ
「カプレッティエーとモンテッキ」(ムーティ) クベツリ、バルツァ
「ラ・ボエーム」(クライバー)、フレニ、ドヴォルスキー、サマーズ
「トゥーランドット」(マゼール) ディミトロヴァ、デッシー、
「ヴェルディーレクイエム」(ムーティ)

10・11月 「20世紀バレエ団」(4) “マルローあるいは神々の変貌”
“レニングラードの思い出” “タラサ我らの海” 他

11月 「ベジャール・バレエ・ガラ」<パリー東京>

“パリの喜び” “舞楽” “黒塚” “ピアフ” “道成寺” “ザ・カブキ” 他

特別出演：坂東玉三郎/ジョルジュ・ドン/パトリック・デュボン

○1989年「昭和」64年・「平成」元年

3月 「国立パリ管弦楽団 (3)」(バレンボイム)

4・5月 「パーミンガム・ロイヤル・バレエ団 (2)」 “白鳥の湖” “眠れる森の美女”

5月 「パリ・オペラ座バレエ学校 (3)」

7月 東京バレエ団「月に寄せる七つの俳句」初演(ノイマイヤー)

7月16日 カラヤン死去

8月 「アメリカン・バレエ・シアター (3)」 “白鳥の湖” “ジゼル” “パリの喜び” 他

9月 Bunkamura オーチャードホール開場

10・11月 「ウィーン国立歌劇場 (2)」

「ランスへの旅」(アバド) ガスディア、クベツリ、カバリエ、ライモンディ

「パルジファル」(ホルライザー) ランドヴァ、コロ、グルントヘーバー

「魔笛」(グラーフ) ボニー、デア・ヴァルト、サルミネン、スミ・ジョー

「ヴォツェック」(アバド) ヴェイツヴィッチ、グルントヘーバー

11・12月 *演出「麻実れいドラマティックリサイタル (初)」(青山劇場)

○1990年1月 *演出「麻実れいドラマティックリサイタル」(初) (大阪サンケイホール)

3・4月 「ジョルジュ・ドン/東京バレエ団」ボレロ “全国29公演”

4月 「ウィーン室内合奏団 (5)」

4月 「パリ管室内合奏団 (1)」

4月 「シュツットガルト・バレエ団 (4)」 “ジゼル” “眠れる森の美女”

5月 「第3回オペラ・ガラ・コンサート (ナヴァロ)」

ベニヤチコヴァ、バルツァ、トランツフ、カップチルリ、ヴァイケル

8月2日 湾岸戦争勃発 (—1991年2月28日)

10月3日 東西ドイツ再統一 (1990・10)

10月14日 バーンスタイン死去 (1990・10)

10・11月 「モーリス・ベジャール・バレエ団 (5)」 “ニーベルングの指環” 他

10月 「イレーアナ・コトルバス・リサイタル」

11月 「ダニエル・バレンボイム・ピアノ・リサイタル」

11月 「東フィル特別演奏会」 (オーチャードホール)

—指揮：パツパーノ、ピアノ：バレンボイム

“ブラームス・ピアノ協奏曲第1番 & 第2番”

12月 「エディタ・グルベローヴァ・リサイタル」

○1991年3月 バブル崩壊 (1991年3月~1993年10月)

3月 「パリ・オペラ座バレエ学校 (4)」

3月 「ウィーン室内合奏団 (6)」

4月 「ホルライザー指揮 東フィル」

6月 「ルネ・コロ・リサイタル」

7・8月 「第6回世界バレエ・フェスティバル」 玉三郎参加

8・9・10月 ジョルジュ・ドン “ニジンスキー” (全国38回公演)

9月 「マーガレット・プライス、ルジェロ・ライモンディ」

9月 「G・ヘッツェル・ヴァイオリン・リサイタル」

10・11月 「国立パリ管弦楽団 (4)」 (ビシュコフ)

11・12月 「イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団 (3)」 (メータ)

12月*演出「麻実れいリサイタル (2)」

○1992年2月 「パリ・オペラ座バレエ団 (3)」 “ディアギレフの夕べ” “グラン・バレエ・ガラ”

3月 クライバー／ウィーン・フィル日本公演キャンセル (シノーポリに変更)

4月 「パリ管室内合奏団 (2)」

5・6月 「英国ロイヤル・バレエ団 (3)」

“ラ・バヤデール” “ペンギン・カフェ” “真夏の夜の夢、他”

7月 「英国ロイヤル・オペラ (3)」 モーツァルト／ダ・ポンテ三部作

「フィガロの結婚」 (ハイティンク) クベツリ、マクローリンガロ、アレン

「ドン・ジョヴァンニ」 (ハイティンク) マッティラ、ヴァネス、アレン

「コジ・ファン・トゥッテ」 (テイト) ヴァネス、シメル、デスデリ

7月29日 G・ヘッツェル死去

8月 「バリシニコフ w/ホワイト・オーク・ダンス・カンパニー」

10月 クライバー来日、箱根～京都～鹿児島～阿蘇（3日～17日）

—チェリビダッケ/ミュンヘン・フィルと同じ便（LH）で帰国

10・11月 「アメリカン・バレエ・シアター（4）」

“ロメオとジュリエット” “眠れる森の美女”

“テーマとヴァリエーション” “アザー・ダンス” “エチュード” 他

11月30日 ジョルジュ・ドン死去

12月 「英国スコティッシュ・バレエ団」（初）「コッペリア」” くるみ割り人形 “

○1993年3・4月 「エディタ・グルベローヴァ・ソプラノ・リサイタル」

5月 「デンマーク・ロイヤル・バレエ団（1）」 “ナポリ” “ラ・シルフィード”

5月 「第4回オペラ・ガラ・コンサート（ナヴァロ）」

マルトン、セツラ、バルツァ、アラガル、アガーケ、他

7・8月 東京バレエ団「M」初演（ベジャール）

9・10月 「ベルリン・ドイツ・オペラ（2）」

「ニュルンベルグのマイスタージンガー」（デ・ブルゴス）ブレンデル

「トリスタンとイゾルデ」（コート）ジョーンズ、コロ、ロイド、シュバルツ

「ローエン格林」（ティーレマン）アームストロング、ヨハンソン、ジョーンズ

10月28日 ベジャール 高松宮殿下記念世界文化賞受賞（明治記念館）

10月*演出「麻実れいリサイタル（3）」（大阪/名古屋）11月（東京）

11月 オーストラリア・バレエ団（初）“ジゼル” “眠れる森の美女” 他

11月 「国立パリ管弦楽団（5）」（ビシュコフ）

○1994年3月18日 クライバー指揮「ばらの騎士」（於）ウィーン国立歌劇場初日

4・5月 「シュツットガルト・バレエ団（5）」 ミュージカル “オン・ユア・トウズ”

4・5月 「モーリス・ベジャール・バレエ団（6）」 “Mr. C<チャップリン>”

“アティナ通りのバラード” “中国の不思議な役人” 他

「ベジャール・ガラ」 “パ・ド・ドウの芸術” w/坂東玉三郎

5月3日-24日 母入院 ●北里病院の病室に NBS 臨時事務所開設

5月24日 母死去（74歳）

5月26日 葬儀

6月21日 東京バレエ団「パーフェクト・コンセプト」（キリヤン）世界初演

7・8月 「第7回世界バレエ・フェスティバル」

ハイデ、ギエム、ノイマイヤー、デュボン、ルグリ、マラホフ、ルリッシュ、マラホフ

9・10月 「ウィーン国立歌劇場 (3)」

「フィガロの結婚」(アバド) ボニー、ガスデュア、ガッロ、ライモンディ
「ボリス・ゴドノフ」(アバド) ラリン、リボヴシェク、コチェルガ、シーマ
「ばらの騎士」(クライバー) ロット、ボニー、フォン・オッター、モル
「こうもり」(シルマー) マッティラ、コヴァルスキー、プライ、ベリー

10・11月 「ウィーン室内合奏団 (7)」

11月2日 日赤医療センター(広尾) 入院

11月8日 メータ見舞

11月9日-20日 「イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団 (4)」(メータ)

11月14日「胃潰瘍摘出手術」12月17日 退院

11月 「バリシニコフ w/ ホワイト・オーク・ダンス・カンパニー」

○1995年1月3日~15日 再入院

1月17日 神戸・淡路大震災

3月20日 地下鉄サリン事件

3・4月 「エディタ・グルベローヴァ・リサイタル」

3・4月 「パリ・オペラ座バレエ団 (4)」“ドン・キホーテ” “イン・ザ・ミドル他”

4月 「パリ・オペラ座バレエ団/バレエ学校合同公演」

“グラン・ガラ=グラン・デフィレ、コンセルヴァトワール、エチュード、他”

4月 「パリ・オペラ座バレエ学校 (4)」

5・6月 「英国ロイヤル・バレエ団 (4)」“ジゼル” “眠れる森の美女” “田園の出来事”

9・10月 「ミラノ・スカラ座」(3)

「椿姫」(ムーティ) ファブリッチーニ、ラ・スコーラ、ヴァルガス、コーニ、
「ファルスタッフ」(ムーティ) ポンス、グスタフソン、ヴァルガス、フロンターリ
「西部の娘」(シノーポリ) ジョンソン、ダニエルズ、ラリン、タイトス、ポンス
「ヴェルディーレクイエム」(ムーティ)
「眠れる森の美女」(スカラ座バレエ団) (初)

10月 「国立パリ管弦楽団 (5)」(ビシュコフ)

10・11月「英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団」(3) “白鳥の湖” “コッペリア”

○1996年2・3月*演出「麻実れい舞台生活25周年記念リサイタル」(4)

3・4月 「モーリス・ベジヤール・バレエ団」(7) w/玉三郎、バリシニコフ他

4月5日 クライバー「アウディ・コンサート」於：インゴルシュタット

5・6月 「マルセル・マルソー」

9月 「スカラ・フィルハーモニー管弦楽団 (ムーティ)」

9月 「フィレンツェ歌劇場」(初)

「ランメルモールのルチア」(メータ) デヴィーア、グルベローヴァ、スコーラ
「アイーダ」(メータ) クライダー、ミッチェル、グリゴリアン、ジャコミーニ

9・10月 「エディタ・グルベローヴァ・ソプラノ・リサイタル」

10月 「オーストラリア・バレエ団(2)」 “コッペリア” “マノン”

10月21日 クライバー「モーツァルト33番」「ブラームス4番」於：ミュンヘン

10・11月 「シドニー交響楽団(エド・デ・ワールト)」

11月14日～12月2日 クライバー来日、京都～湯河原～箱根～東京～沖縄、

12月 「ウィーン室内合奏団(8)」

○1997年2月 「アグネス・バルツァ・リサイタル(ナヴァロ)」

4月 「世界バレエ・フェスティバル特別プロ」 “白鳥の湖(ギエム/コープ)”
“眠れる森の美女(プラテル/ルグリ)” “ジゼル(デュランテ/マラホフ)”

5月 「パリ管室内合奏団(2)」

6月 「英国ロイヤル・バレエ団」(5) “ドン・キホーテ” “ロメオとジュリエット”

6月19日 クライバー/バイエルン・シュターツカペレ(ラヴェンナ音楽祭)

7・8月 「第8回バレエ・フェスティバル」ギエム、マラホフ、ヘレーラ、マラホフ、ボッレ

10・11月 「ギエム/東京バレエ団 ボレロ」全国28公演

10月10日 新国立劇場開場

10・11月 「イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団(5)」(メータ)

11月 「ベルリン国立歌劇場」(1)

「魔笛」(バレンボイム、ヴァイグレ) シュライヤー、パーペ、トムリンソン

「ワルキューレ」(バレンボイム) ポラスキー、マイヤー、シュトルックマン、パーペ

「ヴォツェック」(バレンボイム) シェロー演出、シュトルックマン、マイヤー、クラーク、

「パルジファル」(演奏会形式)(バレンボイム) マイヤー、シュトルックマン

ベートーヴェン交響曲・ピアノ協奏曲全曲演奏会：ベルリン国立歌劇場管弦楽団

○1998年1・2月 「ベルリン・ドイツ・オペラ」(3)

「さまよえるオランダ人」(ティーレマン) ヴォイト、ヴァイクル、サルミネン

「タンホイザー」(ティーレマン、コート) コロ、ヴァイクル、アームストロング

「ばらの騎士」(コート) アームストロング、フォン・カーネン、マッカーシー

4月 *演出「麻実れいリサイタル(5) “巴里物語”」セゾン劇場 大阪ドラマシティ

5月 「パリ・オペラ座バレエ学校(5)」

5月 「クリーブランド管弦楽団(初)」(ドホナーニ)

- 6・7月 「モーリス・ベジャール・バレエ団 (8)」 “バレエ・フォー・ライフ” “突然変異 X”
 7月 「パリ・東京ガラ公演」 w/玉三郎、デュボン
 7・8月 「ルグリと仲間達」
 8月 「バリシニコフ & 坂東玉三郎」 セゾン劇場
9月 「スカラ・フィルハーモニー管弦楽団 (ムーティ)」
 9・10月 「マルセル・マルソー」
11月 「ウィーン室内合奏団」
11月 「国立パリ管弦楽団 (6)」 (プレートル)
 11月 「マラホフノ贈り物」

○1999年1月7・9日 クライバーw/バイエルン (カナリア諸島ラスパルマス、テネリフェ)

- 3月8日 NBS 新社屋完成
 4月 「英国ロイヤル・バレエ団」 (6) “マノン” “白鳥の湖” “リーズの結婚”
 5月 「パリ・オペラ座・バレエ団 (5)」 ベジャール「第9交響曲」
9月 「エルサレム三重奏」
 10月 「ボリショイ・バレエ団 (1)」 24公演 “ドン・キホーテ” “ジゼル”
10・11月 「ウィーン室内合奏団 (9)」
 11月10日 モーリス・ベジャール 京都賞受賞
 11月 「シルヴィ・ギエム特別公演」 “シシー” 他
11月 「ウィーン木管八重奏団」

○2000年1月 「ルグリと仲間達」

- 2月 ノイマイヤー「時節の色」(世界初演) 東京バレエ団
2月 「イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団 (6)」 (メータ)
 4・5月 「デンマーク・ロイヤル・バレエ団 (2)」 “ラ・シルフィード” “ナポリ”
 5月25日 広渡勲「芸術文化勲章シュヴァリエ」受章
 8月 「第9回世界バレエ・フェスティバル」 フェリ、ギエム、デュボン、マラホフ、ロマン

9月 「ミラノ・スカラ座 (4)」

- 「運命の力」(ムーティ) グレギーナ、ディンティーノ、リチートラ、
 「リゴレット」(ムーティ) ロスト、ヴァルガス、ガザーレ、プルチュラーゼ
 「ヴェルディ・レクイエム」(ムーティ)
 「ジゼル」 ミラノ・スカラ座バレエ団 (2)

10・11月 「ウィーン国立歌劇場」 (4)

- 「メリー・ウイドウ」(メルクル) コエーリョ、ハンブソン
 「シャモニーのリンダ」(カンパネッラ) グルベローヴァ、サバティーニ
 「ナクソス島のアリアドネ」(シノーポリ) グルベローヴァ、バルツァ

10月 「グルベローヴァ/カサロヴァ リサイタル」

12月12日 ゲッツ・フリードリヒ死去

○2001年3・4月 「フィレンツェ歌劇場」(2)

「椿姫」(メータ) グルベローヴァ、ヴァシレヴァ、アルバレス、ゲルフィ

「トゥーランドット」(メータ) チャン・イーモウ演出、カゾツラ、バルトリーニ

4月20日 シノーポリ死去、ベルリン・ドイツ・オペラ「アイダ」第1幕公演中

4月 「グルベローヴァ/米良美一」ジョイント・コンサート

9月11日 NY 9/11 テロ

9・10月 「バイエルン州立歌劇場」(2)

「フィガロの結婚」(メータ) ターフェル、ルークロフト、藤村美穂子、

「トリスタンとイゾルデ」(メータ) マイヤー、ウルマーナ、ウエスト、モル

「フィデリオ」(メータ) マイヤー、レッシュマン、モーザー、モル、ロータリング

11月 「国立パリ管弦楽団(プレートル)」

11・12月 「シルヴィ・ギエム/東京バレエ」全国32公演

11月 「ウィーン室内合奏団」

○2002年1月 「ベルリン国立歌劇場」(2) “ニーベルングの指環”(バレンボイム)

「ラインの黄金」パーペ、シュトルックマン、ラング、フォン・カーネン

「ワルキューレ」ポラスキー、マイヤー、ラング、ギャンビル、パーペ

「ジークフリート」ポラスキー、フランツ、クラーク、シュトルックマン、パーペ

「神々の黄昏」ポラスキー、フランツ、マイヤー、ラング、フォン・カーネン

4月 「モーリス・ベジャール・バレエ団(9)」“バレエ・フォー・ライフ”“少年王”

7月31日 NBS退団

12月*演出「佐藤しのぶクリスマスコンサート(初)」東京、大阪、名古屋

2003年 昭和音楽大学 教授(2003-2011) 客員教授(2012-)

○2003年4月1日 昭和音楽大学教授就任

10月12日 公開講座「イタリアにおけるオペラ・マネジメントの現状(S・エスコバル)

12月 クライバー夫人ズデンカ死去

12月*演出「佐藤しのぶクリスマスコンサート(2)」東京、大阪

○2004年3月20・21日 *演出「アグネス・バルツァ」わが故郷ギリシャの歌」

4月1日 東京芸術大学講師就任 (2004・4-2007・3)

4月1日 クライバー邸最後の訪問

7月13日 カルロス・クライバー死去

8月18日 クライバー墓参 コンシチャ

9月12日 公開講座「ベルリンのオペラ劇場改革 (ゲオルグ・フィアターラー)」

11月21日 公開講座「海外における歌手養成システム (カラン・アームストロング)」

12月18日 公開講座「ウィーン国立歌劇場の制作と技術 (H・D・ローザ、R・シュタンゲル)」

12月8・13・14日 *演出「佐藤しのぶクリスマスコンサート (3)」8大阪/東京

○2005年 2月11日 公開講座「英国ロイヤル・オペラの制作と技術 (N・ペイン、J・シーキングス)」

2月~5月 講演会「海外主要オペラの招聘について (全4回)」(京王カルチャー教室)

3月6日 公開講座「日本オペラ100年の歴史II (黒田恭一、鈴木敬介)」

3月 *演出「麻実れい舞台生活35周年記念リサイタル」

4月9日 公開講座「オペラハウスに於ける統率の倫理 (ピーター・ジョナス)」

11月7日 公開講座「イタリアにおけるオペラの現状と展望 (ジャンニ・タングッチ)」

12月 *演出「佐藤しのぶクリスマスコンサート (4)」

○2006年 1月9日 講演会「海外主要オペラハウスの引越公演の舞台裏」(愛媛県文化財団)

1月15日 公開講座「オペラ劇場運営の現場=ベルギー・モネ劇場 (大野和士)」

2月18日 公開講座「オペラ劇場の運営: フランス (ジェラルド・モルティエ)」

3・4・5月 講演会「海外主要オペラの招聘について (全4回)」(京王カルチャー教室)

7月28日~8月18日 セビリヤ (ウエスト・イースタン・ディヴァン・オーケストラ視察)

10月1日 公開講座「オペラ劇場の運営; オーストリア (エヴァ・クライニッツ)」

12月 *演出「佐藤しのぶクリスマスコンサート (5) "The Gift"」大阪、仙台、東京

○2007年 1月28日 公開講座「グランドボーン音楽祭について (G・クリスティ、D・ピッカード)」

2月16日~18日 オペラ・ヨーロッパ 公開講座「世界のオペラ事情」

日本代表のパネリストとして参加・講演 (於: オペラ・バステューユ)

3月13日 公開講座「演出家が語るオペラ演出の今 (ロバート・カーセン)」

4月11日 公開講座「チューリッヒ歌劇場の運営 (アレクサンダー・ペレイラ)」

6月13日 公開講座「メトロポリタン歌劇場の未来戦略 (ピーター・ゲルブ)」

9月9日 公開講座「バイロイト祝祭劇場 (エヴァ・ワーグナー、H・P・レーマン)」

10月16日 バレンボイム 高松宮殿下記念世界文化賞受賞 (明治記念館)

11月8日 公開講座「オペラ劇場の経営学 (ローランド・フェルバー)」

11月19日 公開講座「コミュニケーションとマーケティング (ウルリケ・ヘスラー)」

11月22日 モーリス・ベジャール死去

○2008年 6月21日~7月6日 *演出: 喜歌劇「メリー・ウィドウ」(指揮: 佐渡裕) 12回公演

7月5日 シンポジウム講師「ニーベルングの指環」(関西ワグナー協会)

○2009年6月2日 公開講座「演出家：ペーター・コンヴィチュニー」

6月2日～4日 オペラ演出ワークショップ(昭和音楽大学)

6月5日～7日 オペラ演出ワークショップ(東京芸術大学)

○2010年2月14日 公開講座「音楽を読み解く(クリストファー・ハウグッド)」

7月 講演会「カルロス・クライバー(全3回)」(朝日カルチャーセンター)

12月14日 講演会「オペラの制作現場と引っ越し公演の舞台裏」(びわ湖ホール)

12月20日 公開研究会「舞台美術の今日的表現(サイモン・ホルズワース)」

○2011年1月8日 *演出：ニューイヤーGALA コンサート～日本の雅、西洋の華(富山オーバードホール)

1月26日 シンポジウム「オペラ字幕のあり方を考える(戸田奈津子、増田恵子他)

3月11日 東日本大震災

7月16日～24日 *演出：喜歌劇「こうもり」(指揮：佐渡裕) (8回公演)

<兵庫県立芸術文化センター>

○2014年1月20日 クラウディオ・アバド死去

2月 *演出：名古屋市文化事業団30周年記念「時間旅行～音楽は時代を超えて」(5公演)

10月22日 講演会「舞台芸術に親しむための連続講座(全3回)」愛知県芸術劇場小ホール

12月10日 *演出「NCB音楽祭“歓喜と喝采”(I)」アクロス福岡

12月20日 講演会「世界のオペラハウスがやって来た」(アクトシティ浜松)

○2015年4月 福岡文化財団理事就任

5月18日 講演会「イタリア・オペラの舞台裏」(福岡日伊協会)

12月25日～27日 *演出「麻実れい芸能生活45周年リサイタル“Applause”(7)」

○2016年4月30日 佐々木忠次 死去

5月「音楽の友」6月号—連載「マエストロを友とした日々」開始

12月14日 *演出「NCB音楽祭2016“歓喜と喝采”(II)」(アクロス福岡)

○2017年12月2日 *演出「NCB音楽祭2017“歓喜と喝采”(III)」(アクロス福岡)

○2018年12月8日 *演出「NCB音楽祭2018“歓喜と喝采”(IV)」(アクロス福岡)

○2019年5月 「平成」終了—「令和」へ。「音友6月号」連載終了

12月3日 *構成・演出「NCB音楽祭2019“歓喜と喝采”(V)」(アクロス福岡)

○2020年6月30日 *演出「麻実れい舞台生活50周年記念リサイタル」(8) *2021年3月に延期
12月25日 *演出「NCB音楽祭2020」(アクロス福岡) (予定)

○2021年7・8月 *演出：喜歌劇「メリー・ウィドウ(再演)」(予定)